



未来を守る、新しい防災のカタチ

地域防災活動に現役世代をゆる〜く取り込もう



須崎市 防災課 矢野太一

目次

- 1 現状分析 -参加減・高齢化の実態-
- 2 政策提言 -若者を呼び込む-
- 3 効果・ビジョン -共助が機能するまちへ-

1 現状分析

-参加減・高齢化の実態-

3

南海トラフ巨大地震のリスク

・ 今後30年以内に60～90%程度の確率で発生するとされる
南海トラフ巨大地震



- ・ 高知県全域で最大クラスの地震発生時、須崎市を含む
26市町村で震度7、残る8市町村でも震度6強の強い揺れを
想定。
- ・ 沿岸すべての市町村で津波の高さ10m以上を想定

4

地域防災活動への参加状況は芳しくない

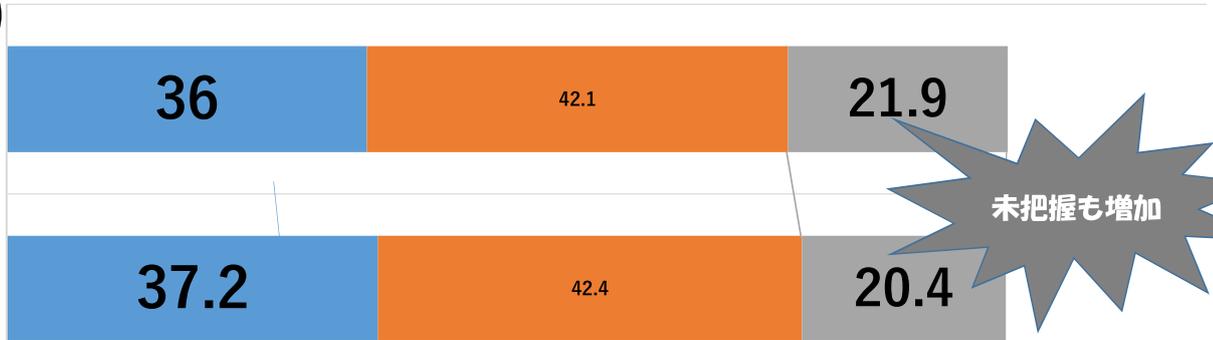
地域や職場での防災訓練への参加状況

■ 地域や職場の訓練に参加した ■ 参加していない ■ 訓練があったかどうか把握していない・無回答

能登半島地震
直後の調査

R6調査

R3調査



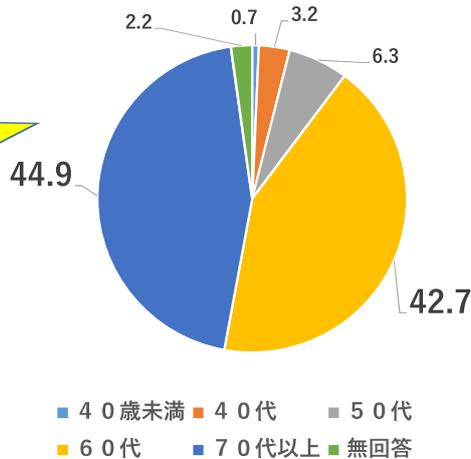
未把握も増加

参加した割合
がおしり減少

令和6年度実施「高知県 地震・津波県民意識調査」

自主防災組織のリーダーは高齢

自主防災組織代表者の年齢



85%以上が
60代以上

10年、20年
経ったら...



消防庁「自主防災組織等の地域防災の人材育成に関するアンケート調査」

なぜ地域防災活動が縮小しているのか

1 住民の関心・意識の低下

活動内容のマンネリ化、参加メリットの不明確さ、災害経験の風化

2 地域コミュニティの希薄化

ライフスタイルの多様化、デジタル化の進展

3 自主防災組織の担い手不足・高齢化

特定の人への負担の偏り、リーダーシップの継承困難

4 行政との連携不足・支援の限界

地域の主体性の尊重と介入のバランス、情報共有の課題、財政的・人的リソースの限界



“時代に沿った形”を模索し、
“現役世代の参加を促す”必要がある！

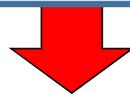


7

「現役世代の参加を促す」には・・・

・若い世代の懸念や要望

- 地震と津波は怖いから防災活動に興味はあるけど・・・
- ◇地元の高齢者から役割や雑用を押し付けられるかも・・・。
- ◇会合に毎回は参加できない・・・。
- ◇ご近所さんと深い人間関係を築くのは少し抵抗が・・・。
- ◇そもそも、情報はオンライン化してほしい



ある種の「**気軽さ・ゆるさ**」が必要では？

8

2 政策提言

-若者を呼び込む-

9

第3期 須崎市総合戦略

【防災情報発信のデジタル化】

高知県の防災アプリの活用や、市の公式LINEで防災情報を発信するなど、気象情報や災害関連情報発信などの**情報伝達の迅速化と充実**を図る。

須崎市総合計画

【防災の課題】

地域の立地条件に応じた避難における自主判断、要配慮者への避難時の対応等、地域の防災力を高めるうえでさまざまな課題。

【計画方針】

126ある地域自主防組織をはじめとした**「共助」の活性化**を謳う。

総合戦略と総合計画にある
防災情報発信のデジタル化政策と
地域防災活動の活性化を具体化する

10

－政策概要－

提言①

「防災専門SNSの運用」

目的：命を守る情報を“届く形”に、
防災を“日常の関心事”に



提言②

「須崎市 防災フェア」

目的：“楽しい体験”で防災を自分ごとに、
「共助」への理解促進



11

提言① 「防災専門SNSの運用」

【目的】

- ・ 命を守る情報を“届く形”に
- ・ 防災を“日常の関心事”に

【ターゲット】

10代後半～60代前半
(子育て・現役世代中心)

【位置づけ】

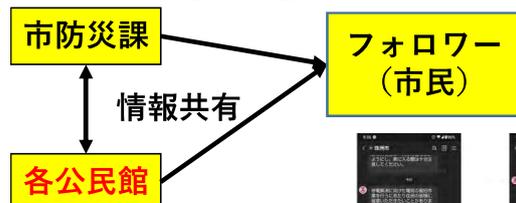
紙媒体よりSNSを見る
若者世代への情報を補完



【内容】

市の公式LINEアカウントを創設し、
災害時の情報だけでなく、
日常的に防災に役立つ豆知識や活動報告を発信

【体制】



【事例】

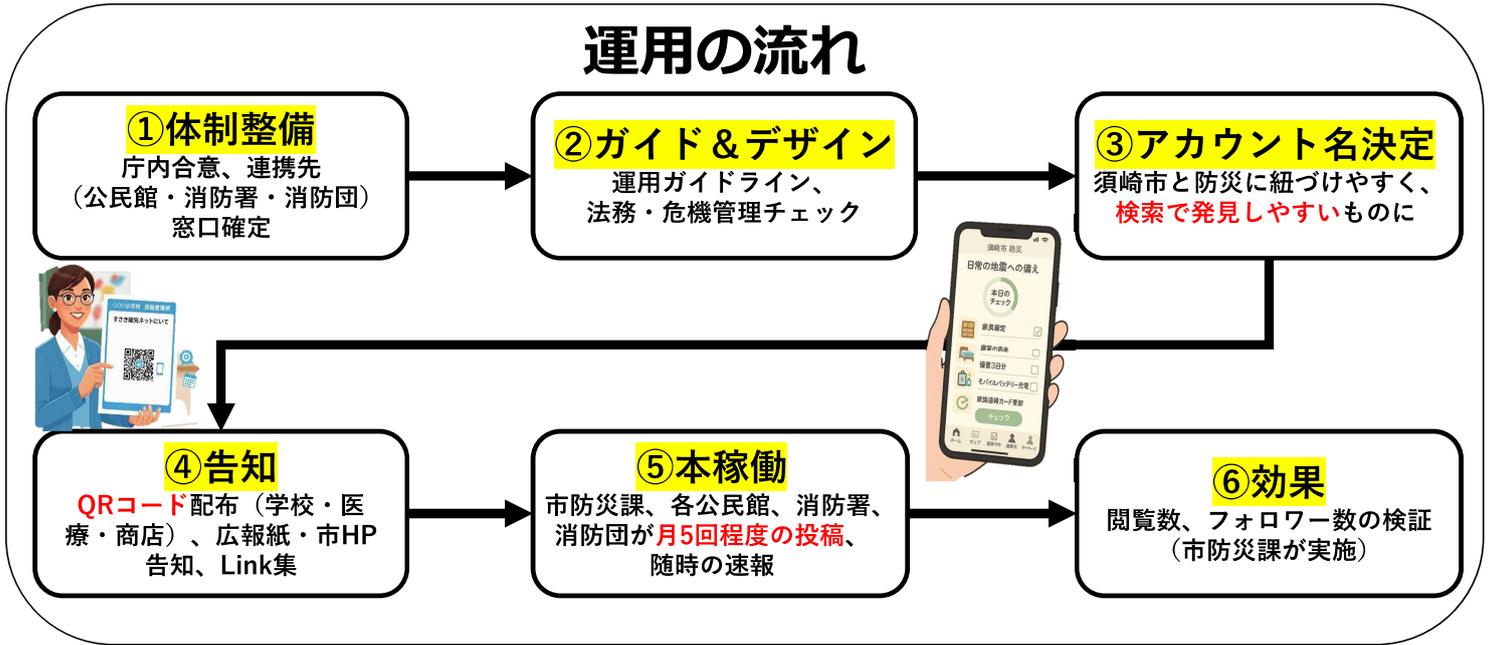
能登半島地震で珠洲市の
公式LINEでの情報発信。



図1 珠洲市公式LINEのリッチメニューの変更

12

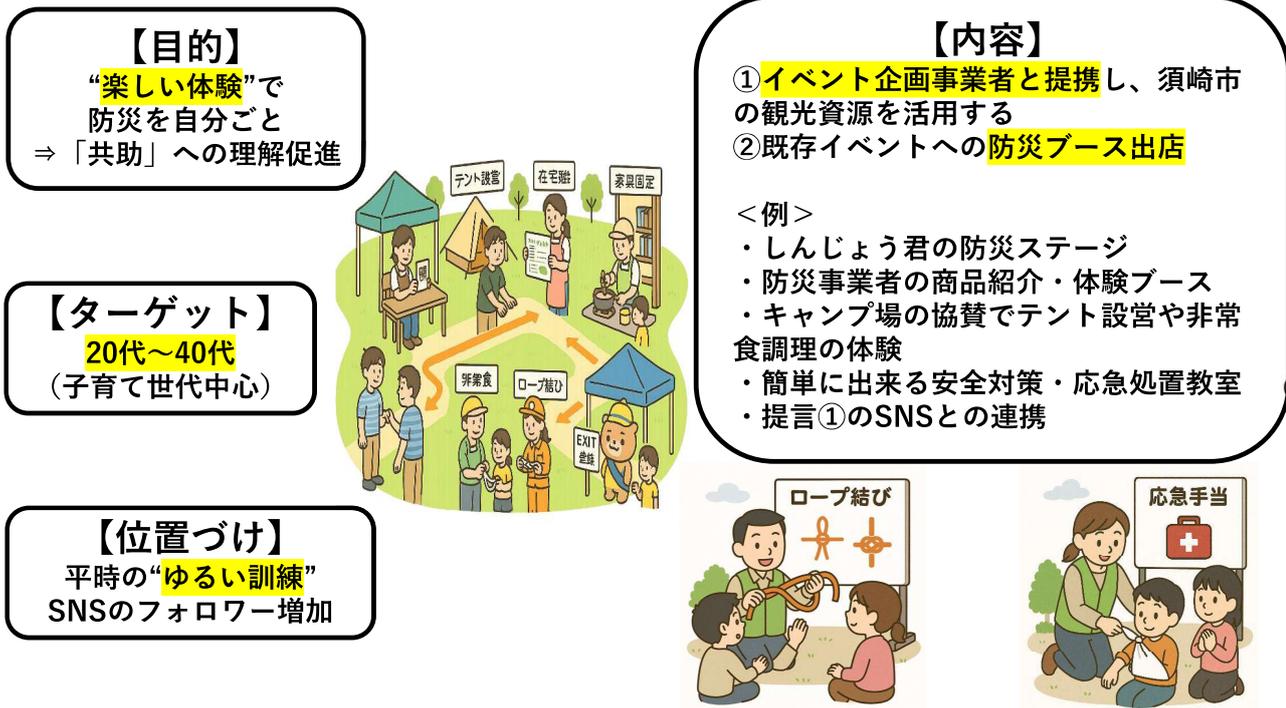
運用の流れ



* 予算 = 既存のSNSサービスの利活用・サービス拡充：ランニングコストのみ

13

提言②「須崎防災フェア」



14

新しい防災イベントの事例

・大阪市住之江区 × LOGOS

(区と地元PTA、LOGOS連携のアウトドア×防災イベント)

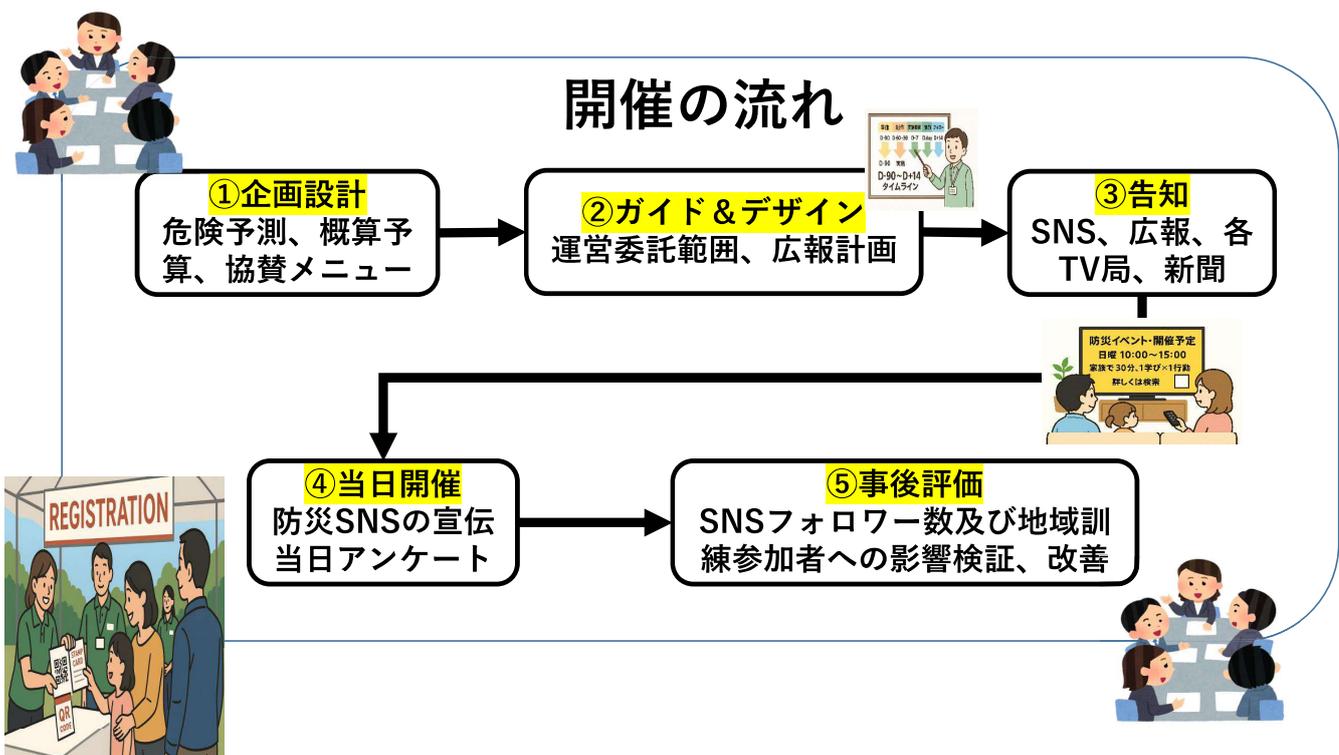


【出典】住之江区WEBサイト (<https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000640634.html>)

・福岡市 防災フェア（民間業者にディレクション外注）



15



16

予算

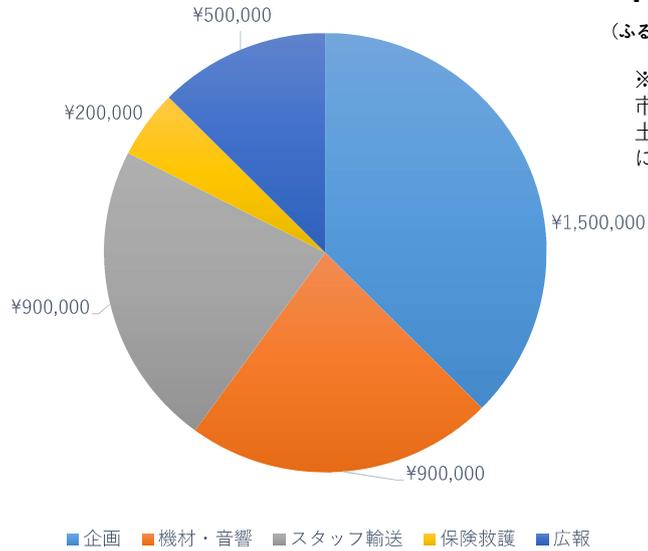


防災イベント実施費用

約400万円

(ふるさと納税による寄付金を活用)

※市内業者・市職員の協力や、市民ボランティア、市所有の土地活用等により比較的安価に抑えられる。



3 効果・ビジョン -共助が機能するまちへ-



目標①（「防災専門SNSの運用」）



市の公式LINEアカウント創設、
日常の防災豆知識
や活動報告の発信

市民（ターゲット
世代）のフォロ
ワー数：2,000人

市民（ターゲット
世代）の防災意識
向上

※事業実施後に独自に行
うアンケートで調査

世代間の
防災意識の
ギャップを
解消！！



19



目標②（「須崎防災フェア」）



新規イベントの
実施
既存イベントへの
出店

イベント来
場者数：
1,000人

・ 地域単位の防災訓練
参加率の増加
(10%→60%)

・ 市内全域の防災訓練
への参加者3倍増

・ ターゲット世代の地
域防災活動への参加増

世代間の
防災意識の
ギャップを
解消！！



20

ビジョン

防災SNS運用と防災イベント開催によって、市民の防災意識が向上する。

世代間の意識のギャップが解消される

地域での防災活動が活性化



**大災害が発生しても
損失が少なく、復興
が迅速な街へ！！**



21

参考資料

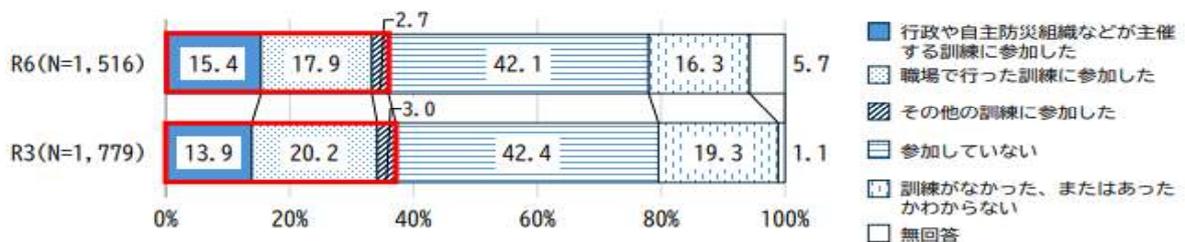
22

10 地域の防災力について

■防災訓練への参加状況や参加率上昇について

- 地域や職場の防災訓練への参加状況について、「参加していない」(42.1%、前回比-0.3)が最も高く、過去1年に何らかの地震防災訓練に参加した割合(「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」(15.4%、前回比+1.5ポイント)、「職場で行った訓練に参加した」(17.9%、前回比-2.3ポイント)、「その他の訓練に参加した」(2.7%、前回比-0.3ポイント)の合計)は4割に満たない結果となっている。
- 訓練の参加人数を増やすための方法については、「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」(36.3%、前回比-1.0ポイント)が最も高く、次いで「訓練の実施をもっと広報する」(29.8%、前回比-0.3ポイント)、「他のイベントと一緒にやる」(27.3%、前回比-2.1ポイント)と続いている。

【問60】 地域や職場の防災訓練への参加状況



23

②自主防災組織の代表(トップ)の年齢

自主防災組織

- 自主防災組織の代表(トップ)の年齢は、90%足らずの組織で60歳代以上である。(70歳以上は約45%)
- 特に、長年にわたり活発な取組を行っている組織は90%以上(70歳以上は約50%)と、リーダーが高年齢層である割合が高い。
⇒ 高齢層が代表(トップ)を務めている組織が非常に多い。

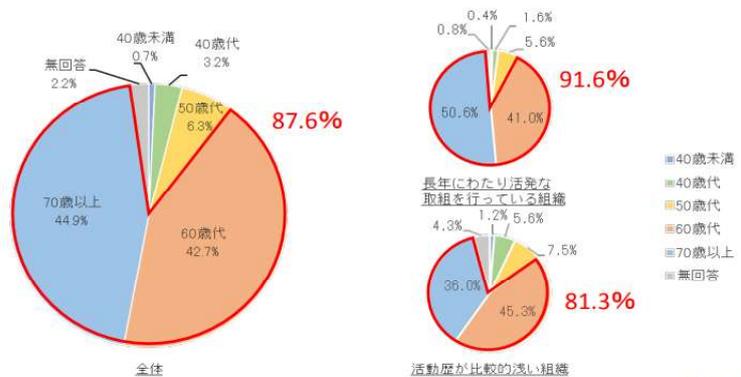


図3 自主防災組織の代表(トップ)の年齢

N=412

24

5 広聴・広報に関することについて

問 26 あなたは、市役所の仕事や地域の行事などを、主に何で知ることが多いですか。(あてはまる番号すべてに○)

<行政情報の入手手段について(全体、性別、年齢別)>

(単位: %)

		調査数(人)	広報「あかるいまち」 (高知市広報紙)	高知市のホームページ	FacebookやInstagramなど	SNS(LINE、Twitter、Facebookなど)	テレビやラジオ	新聞	印刷物 市や町内会からの回覧や	近所の人や知人に聞いて	その他	無回答
全体		1,489	79.7	9.7	10.6	47.9	36.3	31.9	8.6	1.7	1.2	
性別	男性	606	74.3	9.7	9.7	48.0	37.6	28.9	6.1	1.5	1.3	
	女性	866	83.4	9.9	11.3	48.2	34.9	34.1	10.5	1.8	1.2	
年齢別	18～19歳	15	33.3	20.0	26.7	33.3	26.7	6.7	26.7	0.0	6.7	
	20～29歳	92	38.0	15.2	23.9	42.4	13.0	14.1	9.8	9.8	1.1	
	30～39歳	136	72.1	14.7	27.2	35.3	14.7	16.9	16.9	1.5	1.5	
	40～49歳	214	82.7	12.1	15.9	40.2	24.3	21.5	7.0	2.8	1.4	
	50～59歳	242	83.9	15.3	9.1	43.8	33.9	24.0	5.0	0.8	0.8	
	60～64歳	129	82.9	9.3	12.4	53.5	30.2	37.2	7.8	0.8	0.0	
	65～69歳	154	87.0	6.5	5.8	48.7	44.8	44.8	7.8	0.0	0.0	
	70～74歳	179	87.2	4.5	3.9	58.7	50.8	50.3	10.1	1.1	1.7	
75歳以上	318	83.3	4.7	1.6	55.0	52.5	39.0	7.9	0.9	1.9		

※表中の網かけは、■: 最も高い項目、■: 2番目に高い項目、□: 3番目に高い項目。

令和5年度 高知市民意識調査